
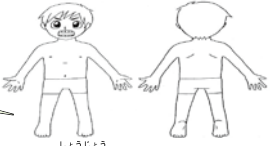


ファクス119通報をご存じですか

この用紙を使って
ファクスで119番通報ができます

FAX119  うつのみやし 宇都宮市	送信方向 送信番号: 119
私の情報 名前: 宇都宮市 住所: 宇都宮市 生年月日: 年 月 日 電話: ファクス	どうしましたか? <input type="radio"/> をつけてください 火事・救急・その他 
緊急連絡先 名前: 本人との関係 電話:	火事 <input type="radio"/> をつけてください 自宅・近くの家・車 その他 ()
障がいに関すること 障がい名・病名 手助けしてほしいこと	救急 <input type="radio"/> をつけてください ①けが・急病の人はだれですか? 私・家族・友人(男・女 年齢) ②からだのどこですか? 
私の医療情報 かかりつけの病院 電話 かかりつけの病院 電話 血液型 Rh + - 持病・アレルギーなど 飲んでいる薬	③どんな症状ですか? 意識がない 痛い 熱がある はいた・気持ち悪い くるしい 血が出た めまい しびれる その他 ()
	その他



みんなの「気付き」や「思いやり」で
「共生社会」を育てよう

12月3～9日は障がい者週間

本文中に記載がないものは、原則として、対象外です。費用は無料。申込不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HP ホームページ、Eメールアドレス、地区市民センター、出張所、生涯学習センター、地域のコミュニティセンター、市民活動センター

私たちの中には、ちよつと周りや違つなという人、そのために周囲の理解を得られなかったり、生活に不便さを感じていたりする人たちがいます。それぞれの特性を理解して、助け合い、みんなが暮らしやすい社会を作りましょう。

障がいのある人などへの合理的配慮ってなんだろう

共生社会の実現に向けたツールがあります

社会には、さまざまな人がいて、それぞれがいろいろな不便さや困つたことを抱えて暮らしています。しかし、自分以外の不便さには気がつくにくいものです。お互いがどんなことで困つているのかを伝え合い、周りの不便さに気づき、そして困つたときにはお互いに助け合う、共生社会を育てることが必要です。誰もが能力や適性を生かし、生き生きと暮らせる社会をつくるために、私たちにできる合理的配慮は何か、この機会に考えてみましょう。

合理的配慮とは、車いすの人が乗り物に乗る時に手助けをすること、耳が不自由な人に手話や筆談で対応することなど、障がいがある人の不便さや困つていることを取り除くこと。

皆さんの中には、障がいがある人が困つていても、声を掛けるのをちゆうちよしてしまつた経験がある人もいます。また、障がいのある人の中にも、自分の困つていることを的確に周囲に伝えることが難しい人がいます。お互いが分かり合えるよう、さまざまなツールを理解し、できることをしてみませんか。

ヘルプマーク 義足や人工関節、難病など、外見から障がいが見えなくても周囲に援助や配慮を必要としていることを知らせるマークです。このマークを見掛けたら、電車・バスの中で席を譲る、困つていようであれば声を掛けるなど、思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプカード 障がいのある人などが、障がいの特

※1 ヘルプカード・ヘルプマークをお持ちですか ■配布場所 障がい福祉課(市役所1階)、保健と福祉の相談(市役所1階)、保健予防課(竹林町・保健所内)、各地区市民センター(天神1丁目)、子ども発達センター(鶴田町)、社会福祉協議会(中央1丁目・市総合福祉センター内)など ■対象 ▽ヘルプカード 障がい者手帳所持者、難病患者、障がい福祉サービスの受給者、その他ヘルプカードを必要とする人 ▽ヘルプマーク 配慮や支援を必要としている人。☎障がい福祉課 ☎(632)2353

緊急時の通報手段の広がりへ期待

市聴覚障害者協会
会長 半田 江美さん



私たちはいざというときに、ヘルプカードなどで、周りの人に困っていることを伝えるようにしていますが、自らも行動できるよう、心掛けています。

今回、救急や災害時に通報する選択肢に「ファクス119通報用紙」が増え、心強く感じています。この用紙は伝えたいポイントを効率的に記入でき、スムーズな通報ができると思いますので、会話が困難な人にも、利用することをお勧めしたいです。

防災訓練や福祉イベントなどのさまざまな機会を通して、ファクス119通報用紙を含めた通信手段が正しく理解され、すべての人に優しい社会が推進されることを期待しています。



電話での通報が難しい人の一助に

消防局通信指令課
係長 安納 真樹 主任 木村 秀徳

ファクス119通報用紙は、文字による意思疎通ができる人が、伝えたいことに○を付け、記入することで通報できる有効な手段です。

あらかじめ左側の住所・氏名などの項目を正確に記入しておくことで、緊急時にあわてず通報することができます。

いざというときのために、皆さんに内容を正しく理解してもらい、適正に活用していただくため、あらゆる機会を通して、ファクス119通報用紙の普及啓発に努めていきます。

平常時に記入してほしいこと

■赤枠の項目(私の情報・緊急連絡先)は 消防出動時に必要な情報です。必ず記入してください。

■青枠の項目(障がいに関する事・私の医療情報)は いざというときに周囲に伝えたい情報を記入してください。

緊急通報するときは

■緑枠の項目は 消防に通報する情報です。伝えたいことを記入し、ファクスで「119」に送信してください。通報後、消防局から受信確認ファクスが送信されます。受信確認ファクスが届かない場合は再度送信するか、近くの人に通報をお願いしてください。



▲ファクス119 QRコード

▶ファクス119通報用紙※2 (市圏からも取り出し可)

交流して相互理解を深めよう

■障がい者週間啓発イベント

- ▽日時 12月3日(日)午後1時30分～
- ▽会場 ベルモール (陽東6丁目)。
- ▽内容 ハンドベル演奏・手話クラス。

■手話つきおはなし会

- ▽日時 ①12月3日(日)午後2時30分～3時②12月3日(日)午後3時～3時30分③12月10日(日)午後2時30分～3時。
- ▽会場 南図書館 (雀宮町)。
- ▽対象 ①③3歳以上②小学生。
- ▽定員 各先着30人程度。

■わく・わくショップU障がい者週間特別販売会

- ▽日時 12月8日(金)午前10時～午後3時 (製品がなくなり次第終了)。
- ▽会場 市役所1階市民ホール。
- ▽その他 詳しくは、46ページをご覧ください。

性や支援を受ける際に必要な情報を記載し、いざというときに、必要な支援や配慮を周囲の人をお願いしやすくなるためのカードです。このカードの提示があったら、記載内容から、困っていることが何かを確認して対応してください。

■ファクス119通報用紙 本市では、聴覚などに障がいのある人や病氣などで会話が困難な人が正確に通報できるような、ファクス119通報用紙を作成しました(上の図)。ヘルプカードと同じ情報をあらかじめ記入しておくことで、緊急時は、症状や状況を記入し、ファクスで送信することで素早く正確に通報できます。また、

かかりつけの病院や障がいに関することなどを通報と同時に伝えられます。

■気付いて 虐待のサイン 障がいのある人の中には虐待を受けていると認識できず、被害を訴えることができない人がいます。虐待の未然防止・早期発見のためには、周囲の人の「気付き」が大切です。身体の傷が頻繁にみられる、おびえる、常に空腹を訴えるなど虐待のサインに気付いたら、市障がい者虐待防止センター(市役所1階・障がい福祉課内) ☎(632)2366に連絡してください。連絡した人の秘密は守られます。

※2 ファクス119通報用紙をお持ちですか ▽対象 聴覚などに障がいのある人、病氣・けがなどにより会話が困難で文字による意思疎通ができる人▽その他 取得方法など、詳しくは、消防局通信指令課 ☎(625)5599、障がい福祉課 ☎(632)2353へ。

◎この特集についての問い合わせは、障がい福祉課 ☎(632)2353へ。